

2016年度第3四半期
決算補足資料

2017年2月6日

DOWAホールディングス株式会社

損益の状況

■ 連結損益計算書

単位：億円

	2015年度 実績		2016年度 見込		比較増減			
	3Q累計	通期	3Q累計	通期	3Q累計		通期	
売上高	3,106	4,065	2,876	3,850	△ 229	△7%	△ 215	△5%
営業利益	281	350	206	290	△ 74	△26%	△ 60	△17%
経常利益	282	350	227	290	△ 54	△19%	△ 60	△17%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	169	218	162	200	△ 6	△4%	△ 18	△8%

為替、金属価格

	2015年度		2016年度			
	1Q～3Q	通期平均	1Q～3Q	3Q平均	4Q前提	通期平均
為替：(¥/\$)	121.7	120.1	106.6	109.3	105.0	106.2
銅：(\$/t)	5,397	5,215	4,928	5,281	4,600	4,846
亜鉛：(\$/t)	1,883	1,831	2,229	2,518	2,300	2,247
インジウム：(\$/kg)	324	302	213	195	200	210

事業環境（3Q）

➤ 廃棄物関連

国内：廃棄物発生量は横這い

東南アジア：廃棄物の総発生量は増加基調にあるものの、
石油・天然ガス開発に関連する廃棄物の発生は低調

➤ 自動車関連

国内：自動車生産台数は横這い

海外：中国や東南アジアを中心に自動車生産台数は増加

➤ 電子部品・半導体関連

新エネルギー関連：北米、アジア市場において需要が増加

スマートフォン関連：世界的に市場成長が鈍化

➤ 金属価格・為替相場

金属価格：銅・亜鉛は上昇、インジウムは下落

為替相場：当初は円高基調で推移、米国大統領選挙後に円安が進行

主要製品の動向

※2015年度1Qを100として指数化

		2015年度				2016年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	92	96	97	91	94	100
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	94	101	96	101	110	112
	東南アジア廃棄物処理額	100	111	92	98	97	100	95
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	95	84	104	86	73	71
	亜鉛生産量 (秋田)	100	74	104	102	102	73	93
電子材料	LED販売量	100	108	77	58	57	50	47
	銀粉販売量	100	102	114	97	127	128	123
金属加工	伸銅品販売量	100	98	103	99	101	106	108
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	100	104	100	100	104	119
	工業炉売上高	100	81	80	82	65	76	72

セグメント別の損益（3Q累計）前年比

単位：億円

	2015年度3Q累計			2016年度3Q累計			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	732	44	39	688	45	46	△ 44	1	6
製錬	1,662	113	121	1,468	46	63	△ 194	△ 67	△ 57
電子材料	371	68	71	441	43	47	70	△ 25	△ 24
金属加工	594	39	40	540	49	50	△ 54	10	10
熱処理	181	8	7	178	13	12	△ 3	4	4
その他、 全社・消去	△ 437	6	1	△ 439	8	6	△ 2	1	5
計	3,106	281	282	2,876	206	227	△ 229	△ 74	△ 54

経常利益の要因別分析

単位：億円

2016年度3Q累計 - 2015年度3Q累計	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	△ 1	△ 10	△ 26	10	4	2	△ 22
うち実収差量（数量差）	-	(0)	-	-	-	-	(0)
実収差量（単価差）	-	△ 16	-	-	-	-	△ 16
原料条件（為替差・ベース条件差）	-	△ 37	-	-	-	-	△ 37
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 11	-	-	-	-	△ 11
電力代ほか	-	11	-	-	-	-	11
減価償却費（製造原価）	3	△ 4	1	1	1	0	1
営業利益増減	1	△ 67	△ 25	10	4	1	△ 74
営業外収支の影響							
・持分法損益	0	6	0	△ 0	-	5	11
・その他	5	4	1	△ 0	0	△ 2	7
経常利益増減	6	△ 57	△ 24	10	4	5	△ 54

2016年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2015年度 実績	2016年度 業績予想	比較増減	
売上高	4,065	3,850	△	215
営業利益	350	290	△	60
経常利益	350	290	△	60
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	200	△	18

- ✓ 業績予想については、昨年5月10日に公表した見通しから変更しておりません。

2016年度4Q 前提条件と感応度

感応度（営業利益／四半期）

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	105.0 円/\$	± 1 円/\$	110
銅	4,600 \$ /t	±100 \$ /t	10
亜鉛	2,300 \$ /t	±100 \$ /t	100
インジウム	200 \$ /kg	±100 \$ /kg	150

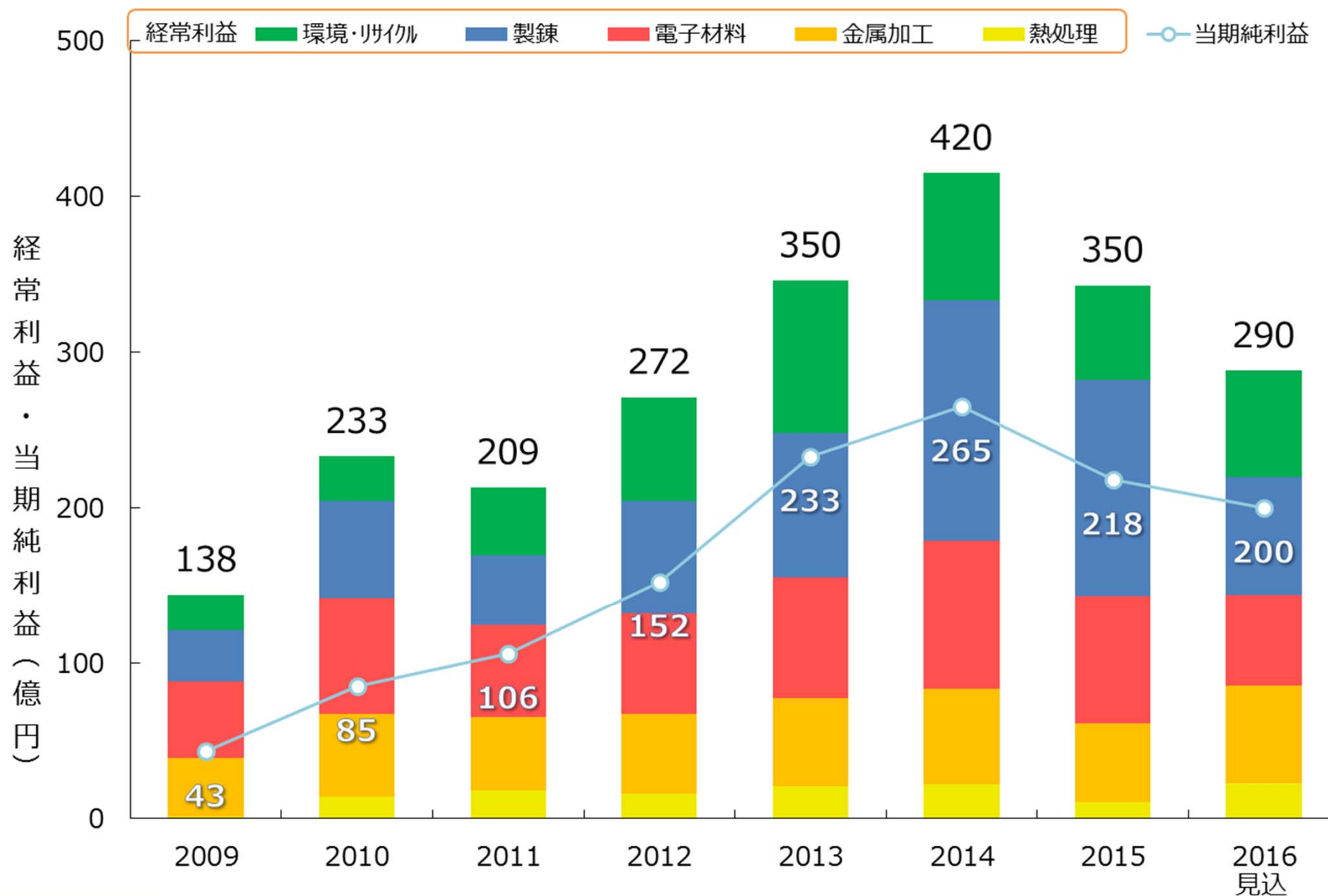
※為替感応度の内訳は、製錬90百万円、電子材料20百万円です。

為替、金属価格

	2015年度		2016年度			(参考)
	1Q~3Q	通期平均	1Q~3Q	4Q前提	通期平均	1月平均
為替：(¥/\$)	121.7	120.1	106.6	105.0	106.2	114.8
銅：(\$/t)	5,397	5,215	4,928	4,600	4,846	5,737
亜鉛：(\$/t)	1,883	1,831	2,229	2,300	2,247	2,713
インジウム：(\$/kg)	324	302	213	200	210	190

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

経常利益・当期純利益の推移



DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。